学校番号	T0308

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編「現代文Ｂ」改訂版　（大修館）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近現代の文章の読解を行います。評論文では文章の論理構造を大切に筆者の主張を的確に読み取る力をつけてください。小説教材では、文章中の表現から登場人物の心理を読み取りましょう。
たくさんの作品に触れ様々な考え方、見方、感じ方に触れ、自分に置き換えてみることで考えを深め人生を豊かにしてほしいと思います。また、論理的に自分の考えを言葉にする、語彙を豊かに持ち自分の気持ちを的確に表現できるようになってほしいと思います。主体的・意欲的に学習し、積極的に読書を行いましょう。

2　学習の到達目標

・近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
・様々な文章を読むことでものの見方、感じ方、考え方を深める。
・進んで読書することによって、国語の向上をはかり人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書いている。	文章を的確に読み取り、自分の考えを深めている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察、記述の確認（ノート、ワークシート等）	行動の観察（音読・発表等の評価）	記述の確認（ワークシート） 定期考査	行動の観察、記述の確認（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、ワークシート等） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	明日をひらく	教材『「迷う」力のすばらしさ』	○			◎	○	a:・教材文の内容をふまえ、「迷う」力について自分の問題として考えようとしている。 d：・筆者の主張と過去の体験との関連を読み取っている。 ・「迷う」力について、筆者がどのように考えているか読み取っている。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察・ノート d:行動の観察、ワークシート・定期考査 e:観察・ノート・定期考査
	詩を味わう	教材『小景異情』 教材『竹』(自主教材) 教材『踊り子』(自主教材)	○	○		◎	○	a:・近現代詩の名作に興味をもち、積極的に音読したり、作品を味わったりしている。 b:・作品を読んで感じたこと、自分なりの解釈について積極的に話し合っている。 d:・作品を音読し、リズムや響きを味わっている。 ・教員の説明を聞き、詩の意味の大体をつかんでいる。 ・詩のおもしろさや主題について考えを深めている。 e:詩の作者についての知識をもっている。	a: 行動の観察 b:行動の観察 d:行動の観察、ワークシート・定期考査 e: 行動の観察・ノート・定期考査

一学期	伝統を受け継ぐ	教材『和の思想、間の文化』	○		○	◎	○	a:教材文を読み、日本文化の特質について興味を広げている。 c:「間」と日本文化の関係について、文章の構成にそって的確にまとめている。 d:・「和」という文字がわが国の文化の特徴を表していることを読み取っている。 ・わが国の文化について西洋との比較を通して理解している。 ・「和」と「間」の関係について理解を深めている。 e:・日本の古典や伝統についての知識を深めている。 ・語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察 c:行動の観察 d:行動の観察、ワークシート・定期考査 e: 行動の観察・ノート・定期考査
二学期	小説を楽しむ	教材『ナイン』	○	○		◎	○	a:・小説の面白さを味わい、主体的に鑑賞しようとしている。 ・小説を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広くし考えを深めようとしている。 b:文章中から読み取れる「わたし」の心情について自分の考えを発表している。 d:・場面の展開を理解し、作品の構成を理解している。 ・登場人物それぞれの人間関係を把握している。 ・小説の描写から中村さんの新道少年野球団への思いの背景にある事柄を読み取っている。 e:・筆者についての知識を持っている。 ・日本の高度成長と新道の変貌との関連を知り、作品の成立背景を理解している。 ・語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察 b:行動の観察 d:観察・ワークシート・定期考査 e: 行動の観察観察・ノート・定期考査

二学期・三学期	名作を読む	教材『山月記』	○		○	◎	○	a: 小説の面白さを味わい、主体的に鑑賞しようとしている。 c:・登場人物の人柄や関係について理解し、的確にまとめている。 d:漢文訓読調の文章を音読し、リズムや響きを味わっている。 ・場面の展開を理解し、作品の構成を把握している。 ・李徴が虎になった理由を李徴の独白から読み取っている。 ・「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」とはどのようなものか文脈から読み取り、作品の主題を考えようとしている。 e:・筆者についての知識を持っている。 ・語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察 c:ワークシート d:行動の観察行動の観察、ワークシート・定期考査 e: 行動の観察・ノート・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c;書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。